

## 新川崎地区新設小学校基本計画検討委員会 第一回 議事録（案）

1. 日時 7月31日（月） 15：15～17：15

2. 場所 日吉出張所第2・3会議室

### 3. 配布資料

- |      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 資料 1 | 新川崎地区新設小学校（仮称）基本計画検討委員会の設置及び運営に関する要綱 |
| 資料 2 | 新川崎地区新設小学校基本計画検討委員会の検討体制             |
| 資料 3 | 新川崎地区新設小学校基本計画検討委員会の WG における検討事項     |
| 資料 4 | 新川崎地区新設小学校基本計画検討委員会の検討スケジュール         |

### 4. 討議内容

#### 1) 挨拶

石橋委員長（南加瀬小学校長）より挨拶をいただいた。

#### 2) 検討委員会設置について（資料 1、資料 2）

- ・事務局より、検討委員会の設置及び運営に関する要綱、検討体制について説明が行われた。

#### 3) 新設小学校の基本構想の検討内容の紹介、計画策定における検討事項について（資料 3）

- ・基本構想の検討概要、計画策定に向けての課題等について事務局より説明が行われた。
- ・まちづくり局より、新川崎地区整備概況について補足説明が行われた。
- ・経済労働局より、創造のもり地区の動向について補足説明が行われた。

#### （教育理念 WG 課題についてコメント）

- ・近年の小学校は児童、教員、PTA に加えて、地域の住民やボランティアの方々が多く出入りするようになっている。地域の方々が活動し易い学校づくりを考えて欲しい。
- ・子どもの安全を第一に多様な教育活動ができる小学校を検討して欲しい。様々な取り組みについては、本新設小学校だけでなく、川崎市全体の教育に対する役割を考慮して欲しい。
- ・児童数の変化に対して、段階的な整備が必要になるが、児童数減少後の活用も含めた間取りの可変性を確保したい。

#### （ゼロエネ・防災 WG 課題についてコメント）

- ・幸区防災教育ネットワーク等の幸区の災害対応に関する消防の取り組みについて紹介した。
- ・環境局では、市有施設について「環境配慮標準」をこの6月に公表している。本小学校の取り組みについても、この動きと絡めて連携したいと考えている。

#### （地域 WG 課題についてコメント）

- ・学校の開放や活用については、地域のニーズを把握して、施設の設えを検討して欲しい。また、セキュリティ、安全面への配慮は重要である。
- ・企業・大学から教材を引き出していくためには、こちら側もアプローチの方法を考える必要がある。開校まですこし時間があるため、体制を作りながら検討していきたい。理科教育の取り組みを、拠点校だけでなく、川崎市全体にどう広げるかが課題と認識している。
- ・素晴らしい小学校ができると同時に、バランスに配慮して周辺の小中学校の仕様向上等についても検討して欲しい。

- 小学校開校までの間、新設共同住宅の児童は小倉小学校に通うこととなる。小倉小学校区は学区と町会の割りが整合しているため、新しい子ども達が入った後の子ども会運営等については検討を要する。
- 現在の小学生は大変忙しく、精神面での余裕を持っていない。自然環境や安全面への配慮により、心の余裕が得られやすい学校として欲しい。
- 目標や課題は大変に的を射ていると感じたので、継続して検討して頂きたい。

#### 5) 先進の学校事例についての紹介

- 先進の学校事例について紹介が行われた。
  - ー児童が能動的に学ぶ活動力を養うために施設としてどう考えるか。既存の図書室、コンピューター室、視聴覚室という枠組みについて、5年後のICT教育も見据えて検討する必要がある。
  - ー学齢段階とユニットプランについては、学齢に応じた少人数への展開方法を見据える必要がある。
  - ー学校の生活の場としての環境、地域・コミュニティと学校等については、改めて時間を設けて説明する。

#### 6) その他

- 事務局より検討委員会の検討スケジュールについて説明が行われた。

以上